



特集

学業・運動・部活動等 様々なことに全力で取り組んでいる

鳩山中学校生徒を紹介します

鳩山中学校生徒×鳩山町長

新春特別座談会

鳩山中学校では、生徒それぞれが、学業だけでなく、部活動やスポーツなど、様々な活動に積極的に取り組み、また学校自体も特色ある授業や活動を実施しています。

今月号では、その鳩山中学校の活動内容を紹介するとともに、特別企画として、第22回東日本学校吹奏楽大会で金賞を受賞した吹奏楽部の代表の皆さんと、令和4年度鳩山町スポーツ賞を受賞した間嶋さんと関谷さんに、自分たちの活動内容を紹介してもらうとともに、鳩山町の将来を担う中学生の皆さんに、今後、鳩山町に期待することなどを、鳩山町長と話し合っていました。

町長 鳩山中学校の生徒さんたちは、令和4年は取り分けスポーツや音楽などで素晴らしい成績を残されています。順番にどのような活動をしているのか、お話しください。

関谷 私が行っているチアダンスは、よくチアリーディングと間違えられるのですが、ダンスが主でありアクロバティックな技は行いません。週3日、1回に1時間半〜2

時間半という短い時間で練習を行っています。特に今はコロナの影響でレッスン数も減ってしまったので、短時間の中でもいかに濃い内容にするか、集中して練習することを日々心がけています。

間嶋 私は水泳を小学3年生から行っていて、現在は、選手クラスに所属しています。種目は50mと100m自由形に取り組んでいます。大会まで長い時には1年かけて練習しますが、努力の結果を、本番のわずか数十秒に全て発揮できるように、大会本番を見据えて、毎日一生懸命練習しています。

町長 近年、日本の水泳は強いので、ぜひ鳩山町から選手として出ていただきたいですね。それでは、吹奏楽部の皆さん、お願いします。

小野澤 私は、吹奏楽部の学生指揮者を務めていました。



まじま けいご
間嶋 慶伍さん
(3年)

第62回全国中学校水泳競技大会50m自由形に出場。

小学校時代から、東坂戸スイミングスクールに所属し、水泳を続けています。



吹奏楽部員一同の目標は東日本大会の金賞で、日々練習を重ねてきました。外部の2人の先生から教えてもらう機会がありました。忙しい方々ですので、短い時間の中で教えていただいた技術をできる



オーストラリア・マウントバーカー校と オンライン交流授業を 実施しました



11月30日(水)に鳩山中学校の2年生と、オーストラリアのアデレード郊外の町、マウントバーカーの中学1年生がオンラインによる交流授業を行いました。

鳩山中学校の生徒たちは、修学旅行先である京都について調べたことを、オーストラリアの生徒たちに、英語も交えながら紹介しました。

その後、日本語を学んでいるオーストラリアの生徒たちから、マウントバーカーの紹介を受け、クイズや質問で、お互いに交流を深めました。

授業では、タブレットを用いての情報の共有化も図っており、生徒たちは、遠く離れたオーストラリアにいる同世代の生徒たちとリアルタイムの授業に、楽しみながら、意欲的に参加しました。



▲各自のタブレットを用いて、情報の共有化を図りました。



▲オーストラリアのマウントバーカーの生徒とオンラインで交流授業を行いました。



▲鳩山中学校の生徒は、修学旅行先の京都について調べたことを発表し、オーストラリアの生徒たちは、マウントバーカーの紹介を行いました。

めるところなどを見ていると、やはり働き場所が少ないと感じ、それが若い人が外に出てしまつて少子高齢化に繋がる原因になっているのではないかと思っています。私も高校生になったらアルバイトを経験したいと思っています。そのアルバイトをする場所も少ないので、小規模なもので良いから、働き場所が増えたら良いと思っています。

間嶋 水泳をやるにあたり、埼玉県外に出ることが多く、交通費がかかるのですが、町で補助してくださっているのがすごくありがたくて、だからこそ頑張らなくてはいけないと思うことがベストに繋がったと思います。鳩山中学校にない部活やクラブチームで活動している人たちにも補助があると、ありがたいと思いますので、お願いしたいです。

町長 この約2年、新型コロナウイルスの影響から町の様々な行事が中止になっていましたが、

これからイベントが開催されていくと思いますので、ぜひ、吹奏楽部の皆さんにも頑張っていたらいいと思います。

関谷 私も鳩山町は、すごい自然が豊かで、住みやすいと思って生活しています。駅などがあると、どの世代の人も住みやすくなると思います。習い事などで私以外にも頑張っている人が大勢いるので、そういう人たちを引き続



▲8月27日(土)、28日(日)に実施された「未来へはばたけ !!HATOYAMA SUMMER FESTA2022」での演奏の様子



▲12月3日(土)に実施された「鳩山町人権問題を考える町民のつどい」での演奏の様子

限り吸収するために、部員一人一人がメモをとり、実践できたことが、結果に繋がったと思っています。

鈴木 大会で演奏した「チングス・ハーン」という曲に取り組み始めたのは、東日本大会の半年前くらいからでした。同じ曲にずっと取り組み続けていると、途中で行き詰まってしまうこともありましたが、チームワークの良さから皆が1つになれたことで、良い結果が残せたと思っています。全国大会に出場するよ

関口 私はパーカッション

鳩山町にこんな町になつてほしいと期待すること

町長 現在、鳩山町は来年度の予算編成中ですが、来年度は給食費無償化に向けて段階的に取り組んでいく、そういう年の位置づけにしたいと考えています。そのことも含めて、鳩山町を子育てをしやすい町にしていきたいと思っています。

小野 自然豊かな鳩山町が好きで、近所の人同士の関わりが深く、挨拶しやすい環境とても住みやすいのですが、姉が就職活動を始



せきや まいが
関谷 每香さん
(2年)

JSS毛呂山スイミングスクールのチアダンスチーム「Topaz Ace」の大会メンバーで、同チームは、USA Japan Summer Competition 2022 EAST大会で、Senior編成Pom部門で第1位となりました。

まうことが多いのですが、自分たちは最後の大会まで、全員で出場することができて、本当に嬉しかったです。

小野 鳩山中学校吹奏楽部の魅力は、仲の良さから生まれる音だと私も思っています。それに加えて地区大会前から文化会館を使わせていただき、ホール練習ができたことが大きかったと思います。狭い音楽室で練習をしていると、実際にはどんな音が鳴っているのか分かりづらいところがあります。しかし文化会館を使わせてもらい、ホール練習を何度も行なえたおかげで、音量的な話もそうなのですが、音や思いを届ける先である観客のイメージを部員全員が持てたことが、地区大会を良い結果で突破できたことや、一人一人の自信に繋がったと強く感じています。

(打楽器)を担当していて、大会ではティンパニーを担当していました。現在、パーカッション担当の人数が少なく、複数の楽器を担当していて大変ではあるのですが、全体を見る力をコンクールでは発揮できたと思っています。鳩山中学校吹奏楽部の次期部長として頑張っていきたいです。

町長 吹奏楽部の現在の活躍は、先輩たちの努力や練習など様々な取り組みを経て、今に繋がっている気がしますので、ぜひ、皆さんも後輩に繋がってほしいと思います。関谷さんにもこれからぜひチアダンスの歴史を作つて欲しいです。また、間嶋さんも今後も水泳に親しんで頑張つていってください。



すずき ゆうま
鈴木 悠真さん(3年)
鳩山中学校吹奏楽部元副部長



おの そうだい
小野 創大さん(3年)
鳩山中学校吹奏楽部元部長



せきぐち こはる
関谷 胡春さん(2年)
鳩山中学校吹奏楽部部長



おの びわ まい
小野 舞さん(3年)
鳩山中学校吹奏楽部
元学生指揮者

鳩山中学校吹奏楽部

令和4年度は、県大会及び西関東大会に出場し、代表に推薦され初出場した「第22回東日本学校吹奏楽大会」で金賞を受賞。また、「第46回県アンサンブルコンテスト中学校部門西部地区大会」で打楽器5重奏及び木管8重奏がそれぞれ金賞を受賞しました。その他、「鳩山町人権問題を考える町民のつどい」など、町の行事で演奏していただいています。



き応援してくださいと嬉し
いです。

鈴木 このまま人が減ってしま
うと中学校の人数も少なくな
ってしまって、部活もまた
減っていくのは悲しいと思
います。交通機関を整備するの
もまた難しいところがある
と思いますので、鳩山町に引
越したいと思うような環境を
作るのも大事だと思います。
住宅の補助を出すなど、引
越してきやすい環境にしても
らえたら少子高齢化の改善に
も繋がると思います。ただ、交
通機関とかをあまり整備し
すぎてしまうのも鳩山町の良
さを失くしてしまうとも思
います。幸福度1位とか、交通死
亡事故が少ないとか、そういう
良いところもありますので、

安心して暮らせるためには、
あまり整備しすぎないとい
うのもいいのかなと感じて
います。

町長 ありがとうございます
です。皆さんから出たお話は、鳩
山町の良さや課題を表して
いると思います。鳩山町は皆
さんご存じのように、交通の便
が悪い、就業の場所が少ない
というのが弱点であり、逆に
良さというのは、安全・安心
に暮らせるということです。
実はその2つというのは、相
反する側面でもあります。良
さを生かしながら町の弱点を
克服し、発展させていくのは
難しいことなのですが、皆
さんの意見を聞きながら進め
ていきたいと思っています。私
が町長になって始めたデマン
ドタクシーも、鉄道をひく、駅
を作るということは鳩山町単
独ではできないのですが、そ
のなかでも町でできることは
何かということで始めた取り
組みでした。今は1回の利用
で200円かかりますが、町
内のどこにでもいける仕組
みを作っています。そうしたこ
とも積極的に活用しながら、
町の活性化を図っていきたく
と思いますので、よろしくお
願いします。

鳩山中学校の生徒がさまざまな職場を体験 中学生社会体験チャレンジ事業

12月7日(水)～9日(金)にかけて、町立鳩山中学校による「中学生社会体験チャレンジ事業」が3年ぶりに行われ、同中学生1年生が延べ15の事業所で職場体験を行いました。

この事業は、社会体験活動を通して多くの人々とふれあい、学校では得られない社会体験を積むことで、たくましく生きる力を育むために実施されています。

鳩山町役場で、公式SNSへの投稿記事を作成した生徒は、「文章を普段考えることがなかったので難しかった」「作成してみても楽しかった」「写真を撮影するのが難しかった」などと感想を話していました。



◀幼稚園で絵本の読み聞かせを体験。

▼図書館では、1月14日から実施する「雑誌リサイクル」の準備を手伝っていただきました。



◀鳩山町役場でSNSへの投稿記事を作成。



もっと知りたい方は

鳩山中学校の特色ある教育活動をホームページでご覧ください！

鳩山中学校の日々の授業などの様子は、鳩山中学校ホームページにて、ブログ形式などを用いて随時紹介しています。

その他、行事の予定などもお知らせしていますので、右記の二次元コードから鳩山中学校ホームページをぜひご覧ください。

